



エジンバラ公の森公園観察学習（幾寅小学校）

平成19年度 教育行政執行方針



平成19年度教育行政執行方針を述べる森教育長

確かな学力と 生きる力を培う学校教育 いつでも、どこでも、 だれもが学べる生涯学習

教育行政の基本姿勢

平成19年第1回南富良野町議会定例会の開会にあたり、教育行政の方針を申し上げ、町議会並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

今日、わが国をとりまく状況は、内外ともに極めて厳しい時代を迎えており、国際化情報化、科学技術の進展、さらには高齢化、少子化の進行や経済構造の変化など大きな転換期のなかで、地域社会は急速かつ複雑に変化してきているところであり、特に教育の分野におきましては、教育の根本法ともいえるべき「教育基本法」が昨年末に改正され、教育委員会や学校のあり方、教員制度、学習指導要領など、関係法令と諸制度の見直しに論議が行われ、広範多岐にわたる教育改革が急速に進められております。

たし、こうした改革の時代にあっても町づくり、地域づくり、人づくりのために、主体的に生きていくことのできる個性豊かな人材を育てていくことが大切であり、更に、子どもから大人まで全ての町民一人ひとりが、生涯の各期にわたって、健康で充実した生活を送ることができるとともに、習の推進が求められております。

教育委員会としましては、このような教育課題にこころを配り、関係機関や団体などと連携のもと、地域に根ざした教育行政の推進に努めてまいります。

学校教育の推進

小中学校

はじめに、学校教育についてであります。各小中学校では、より子ども達に基礎・基本の定着と、自ら学び、自ら考える力などの「確かな学力」や、生命を大切にすることや、他人と協調し思いやりや感動する心の「豊かな心」、人

間としてたくましく生きるための健康や体力などの「生きる力」を育むため、各学校の実態に即した学習指導に教職員一人ひとりが取り組んでまいりますので、引き続き支援してまいります。

また、近年は、学力の低下が指摘され、学ぶ意欲や学習習慣が課題でありますことから、指導面の工夫改善はもちろぬのこと、学校と家庭が協力して、子どもたちに学習習慣をしっかりと身につけるような取り組みを進めてまいります。

豊かな心の育成につきましては、子どもたちは社会性や規範意識が薄く、道徳心が低下しているといわれ、問題行動の低年齢化や凶悪化、いじめ問題などが大きな社会問題となっており、教師と子ども達の心のふれあいを通して、善悪の判断や社会のルールを守るという基本的な規範意識や倫理観、そして公共心や他人への思いやる心など、社会性を育てる教育が求められておりますので、子ども達の心に響く道徳教育を進めるとともに、学校が家庭や地域と連



幾寅小学校

学校給食

ターゲットした南富良野中学校は、開校2年を経過しますが、基礎・基本の学習指導をはじめとした各種指導や部活動の推進に努めており、平成18年度は部活動や体育大会で好成績を修めたことは、統合の成果といえると思います。

本年度も本校教育目標であります「心豊かに学び、共に明日の郷土を拓く、たくましい生徒」のもと、教育活動を進めてまいります。

学校給食は、食事を摂取することで、成長期にある児童生徒の体位向上と健康増進に重要な役割を果たすことだけでなく、給食を通して食生活の正しい知識と食習慣を身に付けてもらい、自己の健康管理ができる能力を育て、食の楽しさ、大切さを知る上で重要なものがあります。昨年の2学期より米飯を供給して副食と一体化した完全給食を行ってきたところであり、今後も栄養バランスを考慮した安全で好まれる給食の提供を進めてまいります。

教職員の研修

教職員の研修についてであります。児童生徒の健やかな成長にこころを配り、学校教育の直接の担い手である教職員の指導力に負うところが大きいことから、教職員一人ひとりが社会の変化に対応する豊かな感性と幅広い教養を持ち、実践的指導力を高め、それを最大限に発揮し、連携協働していくことが極めて重要であります。子ども達にいかにかくましく生きる力を育成させることができるかが問われてまいりますので、より一層の研鑽を積み、教師自ら資



南富良野高校

高等学校

次に、南富良野高等学校についてであります。本校の教育目標を基本としまして、今日的な時代の要請や、生徒一人ひとりの個性や能力、適正を重んじた教育実践を進め、地域の特色を生かした学校づくりに努めているところであります。

しかしながら、過疎化、少

子化による生徒数の減少のほか、学校選択の多様化、更に、平成17年度の高等学校入学者から通学区域が拡大されたことにより、安定した生徒確保に極めて困難を来している状況にあり、近年の入学志願者は、定員を大きく下回る状況となりました。このため、地域や保護者から期待され、生徒からも信頼される学校づくりを進めるとともに、生徒の実態や特性を的確に把握し、中学校と高等学校との連携をはじめとし、関係機関、地域と一体となった課題解決に努めてまいります。

また、特色ある学校づくりの一環として、引き続き生徒が簿記等の検定受験をする際の受検料を補助するとともに、通学費を助成してまいります。

教育指導としましては、従前同様習熟度学習やコンピュータによる情報教育、英語指導助手による語学学習、進路に応じた類型学習、更に、北海道アウトドアガイド資格取得認定校と訪問介護士資格取得認定校として資格取得と体験学習の充実を図ってまいります。